

令和4年度第9回 感染症発生動向調査部会  
議事要旨

1 日 時 令和4年12月21日(水) 14:00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 小会議室(岐阜市柳戸1-1)

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志(岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター センター長)  
大西 秀典(岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学 教授)  
澤田 明(岐阜大学医学部附属病院 眼科 臨床准教授)  
加藤 達雄(国立病院機構長良医療センター 呼吸器内科統括診療部長)  
大野 元(岐阜県産婦人科医会 理事)  
石山 俊次(石山泌尿器科皮膚科)  
オブザーバー: 市原 拓(岐阜市保健所 感染症対策課 感染症対策係長)  
事務局 : 石塚 敏幸(感染症対策推進課 感染症対策第二係長)  
山田 涼子(感染症対策推進課 技師)  
今尾 幸穂(保健環境研究所 疫学情報部長)  
岡 隆史(保健環境研究所 主任専門研究員)

4 議 題 (進行:澤田委員)

- (1) 前月の感染症発生動向について
- (2) 検討すべき課題について
- (3) その他(感染症対策推進課から)

5 議事要旨

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・月番委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題について】

○今シーズンのインフルエンザの流行について

<事務局から>

- ・岐阜県ではまだその兆候はありませんが、関東地方などで増加傾向を示す地域がみられます。このまま流行入りすると仮定すると、新型コロナウイルス感染症出現以前の季節性流行よりも1か月程度遅い流行入りが考えられます。

<委員から>

- ・徐々に緩められつつあるものの、現在も新型コロナウイルス感染症への予防対策は実施されているため、以前よりもインフルエンザの季節性流行が抑えられているのかもしれない。